

平成25年度 妙高市家庭・技術家庭部 活動報告

部長 堀井 睦子

1 研究主題

一人ひとりに「生活に生かす力」を育てる ～ 評価の工夫を通して ～

2 研究の概要

- | | | | | |
|-----|----------|-----------|----|--------------|
| (1) | 4月18日(水) | 家庭・技術家庭部会 | 総会 | 「年間計画立案」 |
| (2) | 8月22日(木) | 夏の研修 | | 「教育課程伝達講習」 |
| (3) | 11月7日(水) | 秋の研修 | | 「3 研究の実際に記述」 |

3 研究の実際

【第1部】 レポートによる実践交流

各部員が、春の総会で決定した研究主題で実践した内容をA4版1枚のレポートにまとめて持参した。

それを基に小中学校の教員混合の4人1グループとなって、実践を紹介したり質問や意見を受けたりした。

教科書を持ち寄り、単元内容を確認しながら実践を発表したことで、小・中学校の教員が互いの指導内容や指導法を理解することができた。

また、現在、家庭科の授業を担当していない部員も、生活科や総合的な学習の時間等で、研修主題にそった実践レポートを発表した。そのことで「生活に生かす力」という観点がより深まった。



【第2部】 調理実習

テーマ：子どもに伝えたい妙高市の郷土料理

講師に、管理栄養士で郷土料理研究会の水野せつ子様をお迎えした。実習献立は、小学生でも作りやすく、秋が旬の食材を使用する次の3品であった。

- ① 山もち(ご飯をつぶしてくるみ味噌を付けて焼いた餅)
- ② 里芋ののっぺ
- ③ キャベツのくるみ和え

部員からは、「5年生は米づくりをするので、収穫した米を炊いて山もちにしようかな。」といった意見や、「生活科で収穫した秋野菜を入れて里芋ののっぺを作ってみよう。」といった声が聞かれた。



4 成果と課題

年度の早い段階で研究主題や研究計画を立てて周知したことで、各自が実践を前向きに捉え、11月の秋の研修までに研究主題にそった実践を行うことができた。全員がレポートを作成し持参したことで、秋の研修への参加意識が高まった。

次年度は、公開授業研修を実施し、実際の授業を通して授業力の向上を図っていきたい。